

## Ⅰ. 学校経営の基本方針

### (1) 基本方針

本校の教育は創立以来、憲法および教育基本法をはじめとする、教育関係諸法令に基づき、人格の完成を目指し、真理と正義を希求する人間の育成を期して行われてきた。

また、「枚方市教育大綱」において定められている本市の教育理念『夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成』～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～の実現をめざし、今後も、保護者や市民の信託に応える教育内容を確立する。

### (2) 本校の教育理念

「ともに学び、ともに進まん」

### (3) 学校教育目標

◇つながる(安心) ほこれる(大好き) わたしがつくる さだ小学校 「I make SADA！」

### (4) めざす学校像

#### ○自分と向き合う

- ・苦手なことや弱みが言える学校
- ・個々の課題解決に真正面から取り組む学校

#### ○他者につながる

- ・明日も行きたいと思える学校
- ・安心して過ごせる学校

#### ○自分を高める

- ・自分で考えたことをチャレンジ(実現)し、未来に希望を持てる学校
- ・高め合い

### (5) めざす児童像…心のめあて「むきあうん・つながるん・たかめるん」

#### ○自分と向き合う子

- ◆自分のことを知り(自分とつながり)、自分の気持ちや行動を整えられる子
  - ・自分を知り、受け入れることができる(性格、強みや苦手、etc.)
  - ・自分の状況や気持ちを伝えることができる
  - ・自分の課題解決に向けて、考え、行動することができる

#### ○他者につながる子

- ◆自分と仲間を互いに認め合い、最適解・納得解を出せる子
  - ・自分の思いや考えを足手に伝えることができる
  - ・他者と進んで関わろう(つながろう)とすることができる
  - ・仲間の気持ちを考え、想像することができる
  - ・集団で互いを認め合い、納得解を出すために必要なことを考え、行動することができる

#### ○自分を高める子

- ◆目標に向かって素直・前向きに取り組み、調整・修正しながら失敗を恐れずにチャレンジできる子
  - ・目標を自分で立て(自己決定)、目標達成に向けて調整・修正できる
  - ・振り返りで「次は」「今度は」などの言葉が出て、今の学びを次の「問い」につなげることができる
  - ・仲間とともに高め合える子

(6) めざす教職員像…認め合い、高め合い「I make SADA!」「レッツグリップウェルビーイング!」

○子ども一人ひとりの人権を重んじ、心に寄り添える教職員

- ・カウンセリングマインドを持ち、一人ひとりの成長に寄り添いながら一貫した指導・支援を続ける教職員
- ・笑顔で子どもに向き合える教職員（自己肯定感、自己有用感を育成するため、些細なことでも見逃さず、認め、褒め、励ます教職員）

○今が最新!磨き続ける

- ・考えを伝え合い、高め合い、より良い納得解、最適解を目指してアップデートし、チャレンジし続け、積極的な教育活動を全うできる教職員

○自分を知り 自分を整える「自己調整力」の向上

- ・自分の強みややりがい、自分にあった働き方(ワークライフバランス)を知っている教職員
- ・時間と心に余裕のある教職員
- ・仕事に誇りを持つ教職員

○私がつくる あなたがつくる 自他尊重で実現させる「ウェルビーイング」

- ・コミュニケーションを通して、自分らしさ(互いの働き方)を認め合える教職員
- ・組織的に児童の背景を捉え家庭や地域との情報交換を密にし課題解決のために努力し続ける教職員

(7) めざす職員室像…みんなのパワースポット「職員室と学級は相似形」

○大切にしよう「自分と仲間」

- ・一人で抱えこまず、チームで取り組む職員室
- ・子どものことを真剣に話し合える職員室

○見てみよう 聴いてみよう「相手のこと」

- ・雑談や何気ない会話を大切にする職員室
- ・気軽に相談できる職員室
- ・相手の考えを否定しない、受け止める職員室

○言葉にしよう「ありがとう」

- ・「笑顔」「思いやり」「互いが尊重」が溢れる職員室

## I. 本年度の重点課題と具体的な取組み

### 【重点課題Ⅰ】「豊かな心の育成」… 思いやりをもち、協力して取り組める子どもの育成

#### ①人権意識の醸成

##### ◆「いじめを絶対に許さない」集団づくり

- ・「いじめ防止対策推進法」「蹉跎小学校 いじめ防止基本方針」に基づいた組織的な対応の徹底、日々の児童観察やアンケート等による実態把握と迅速な対応、加害児童も含む児童・保護者への丁寧な対応と公平な指導（早期発見、早期解決）
- ・児童にとって相談できる関係、環境づくり
- ・性教育等パーソナルスペースなど、具体的な実践をとおしての学び

##### ◆体罰および暴言の絶対禁止

- ・児童の人権を認めた言動

#### ②道徳教育の充実

##### ◆「考え、議論する道徳」に向けた授業の工夫および改善

##### ◆「特別の教科 道徳」の保護者・地域への授業公開

##### ◆自己肯定感を育むクラスづくり

- ・授業中は、呼び捨てにしない、愛称を使わない

#### ③児童支援体制の充実

##### ◆児童支援主担者を中心とした迅速で組織的な対応

- ・「報告・連絡・相談」の徹底。教師を一人にしない組織的な対応の構築
- ・必要に応じてケース会議を開催
- ・児童支援事案については、軽微であっても内部系PCに詳細を記録（保護者の対応時の様子などを含む）し、全教職員に共通理解を図る。（学期に1回は児童支援全体会を開催する）

##### ◆不登校の未然防止と支援

- ・タブレットを活用し、欠席や遅刻等の早期の状況把握と共有、「蹉跎小学校不登校対応方針」の共有
- ・心の教室相談員やスクールカウンセラー、SSWや関係外部団体等との連携
- ・チームで家庭訪問や別室登校等、柔軟な取組みの実施

##### ◆心を整えるための合言葉「姿勢・挨拶・靴と椅子」

- ・全ての教職員によるこまめな声かけの徹底

#### ④教育環境の整備

##### ◆日々の整理整頓と早期の補修（教員が自分でできることは自分で補修する）

##### ◆集中清掃の実施（教職員もともに）

##### ◆学期の始まりに向けた校内の簡易的な清掃の実施と学期末の整理整頓（職員室を含む学習環境）

##### ◆学校応援ボランティア「さだレンジャー」の募集、積極的な活動依頼

### 【重点課題Ⅱ】「確かな学力の向上」… 学ぶこと・考えることが好きな子どもの育成

#### ①学校全体としての取組みの充実

##### ◆学力向上主担者を中心とした組織的な取組みの充実

- ・6年間の発達段階を踏まえ、卒業時の明確な目標達成をめざす指導
- ・全学年の指導が系統的に組織された取組みの構築

##### ◆「自立した学習者」の育成をめざした「子どもが主体の授業づくり」

#### ②学習規律の徹底と確立

##### ◆全学年共通した「枚方スタンダード」の徹底

- ・チャイム席、授業の準備、挨拶、話し方、聞き方、姿勢などの徹底
- ・学びに向かう学習環境の維持・徹底

#### ③授業力の向上

##### ◆総合的な学習の時間（生活科を含む）を中心とした校内研究「探究学習」と授業実践

- ・全教職員がめざすゴールを共有し、ねらいや目的の達成のためにチームとして取り組む

・家庭学習を単元計画に組み込み、シームレスな学びに基づいた指導の構築

◆相互授業参観の活用

・学級運営や非認知能力の観点も含め、積極的な授業公開と相互参観の実施、空き時間の活用

◆基礎・基本の定着

・児童の個性に合わせた指導

◆Hirakata授業スタンダード(第2ステージ)および5Cの実施

◆タブレット端末を活用した個別最適化された授業づくり

・必要に応じたより効果的な活用方法づくり

・タブレット活用のルールの徹底

④家庭学習の充実

◆「家庭学習の手引き」の活用と保護者への協力依頼(学級懇談会、PTA総会、学校だより、学年だより等を活用して)

◆計画的な自主学習ノートの取組み

・計画的な家庭学習方法を獲得するための指導

・児童一人ひとりの自分なりの学習方法への指導

◆児童の課題に対応した宿題等の実施(タブレットの活用等を含む)

・個別最適化された宿題等の実施

・1週間ごとのスケジュール作りと児童相互の進捗の確認

⑤読書習慣の定着

◆読書ノートの活用

◆司書、司書教諭を中心とした図書室割り当ての時間の工夫と図書室の活用の工夫

・読書に興味や関心を持たせる指導や資料活用を意図した図書室の利用等

・保護者やボランティアの活用

⑥支援教育の充実

◆各学期に1回の「全体会」で支援在籍児童や通級指導教室在籍児童及び支援を要する児童について共通理解を図る

◆支援教育コーディネーターを中心とした個に応じた指導方法の研究

・支援在籍児童及び通級指導教室在籍児童が通常の学級での授業でも居場所がある指導方法づくり

・通級指導教室と支援学級でのそれぞれの指導方法の研究に努める。

◆支援学級担任及び通級指導教室担任と通常学級担任との連携強化

・児童支援上の課題や学習課題を共有し、課題解決に向けたより強固な連携づくり

◆ユニバーサルデザインによる学習環境の充実

・全ての児童が安心できる学習環境がユニバーサルデザインであることを念頭に学校全体でユニバーサルデザインに取り組む

・常に児童にとって安心・安全な環境であるかの視点を持つ

【重点課題Ⅲ】「基本的生活習慣の確立と体力向上」…体を動かすことが好きな子どもの育成

①基本的生活習慣の定着

◆保護者との連携のための実態把握

・学校教育自己診断等の活用と分析

◆「早寝・早起き・朝ごはん」の徹底

・学校教育自己診断等の活用と保護者への情報発信と協力依頼

②体力についての課題の明確化

- ◆体力・運動能力調査等を活用した「体力向上プラン」の作成と活用
  - ・体育部会を中心とした分析とプランの全教員による作成と活用を図る

### ③体育科の授業の充実

- ◆児童の主体性を大切にした授業の実施
  - ・体育カード(鉄棒カードやマットカードなど)の積極的活用と振り返りの充実
- ◆ねらいを明確にした授業の実施
  - ・授業計画の点検
  - ・児童一人ひとりの授業後の振り返りと新たな目標設定の充実
- ◆系統的な計画に基づいた取組みの実施
  - ・最終目標(ゴール、つきたい力)を明確にした授業計画の策定

### ④個に応じた取組みの実施

- ◆苦手意識を克服するための工夫
  - ・主体的な取組みとなる授業づくり
- ◆マラソン週間の設定

## 【重点課題Ⅳ】「保護者・地域との協力連携」… 地域とともにある学校づくり

### ①コミュニティスクールの実施

- ◆学校運営方針の共有化
  - ・学校の願い、保護者の願い、地域の願いの共有
- ◆学校運営協議会の設置と役割分担
  - ・コミュニティスクール担当教員を校務分掌に明記し、地域に開かれた学校づくりに資する
  - ・年間3回以上の学校運営協議会の開催

### ②安全・防災のための協力依頼

- ◆防災教育への協力
- ◆PTAとの通学路点検・地域パトロールの実施
  - ・登校班の名簿作成の協力依頼
- ◆「虐待」・「不登校」・「いじめ事案」等の早期発見のための情報共有

### ③地域人材の活用

- ◆学校応援ボランティア「さだレンジャー」の募集、積極的な活動依頼
- ◆学校図書ボランティアへの協力依頼
- ◆昔遊び、裁縫指導等のゲストティーチャーの積極的活用と協力依頼

### ④「保・幼・こ・小・中」連携「架け橋プログラム」(1(いち)年生と5(ご)歳児による「いちご大作戦」)

- ◆校務分掌に担当者を明記し、組織的に連携を進める
  - ・小1プロブレムや段差解消に向け、積極的な交流を進める
  - ・「5歳児架け橋会議」や「小中連携会議」等を積極的に行い、「保・幼・こ・小・中」における情報の共有を図る
- ◆「架け橋プログラム」を活用した保幼小連携を推進する。

### ⑤保護者・地域への情報発信

- ◆学習状況の保護者への報告を補完する校務支援システムの活用と毎学期の保護者への報告
- ◆学校だより・学年だより・(学級だより)の定期発行
  - ・B4用紙1枚程度、または電子媒体での定例発行等
- ◆学校ブログの充実
  - ・学校ブログの充実・日々の各学年の報告(各行事内容の簡単な紹介等、最新の情報を提供)
  - ・学年のページの作成(学年だより、学級だよりのペーパーレス化を進める)

◆学校行事・オープンスクールへの参観依頼

【重点課題Ⅴ】「学校運営組織の充実」「レッツ グリッ プ ウェルビーイング」

信頼される教師集団の確立とパワースポットとしての職員室 「職員室と学級は相似形」

①サービス規律の徹底、法令順守

◆身だしなみ、時間厳守、危機管理等の徹底

- ・TPOをわきまえた身だしなみや言動
- ・子どもたちの見本となるべき態度に努める

②長時間勤務の縮減(熱心≠長時間勤務)

◆ワークライフバランスのある働き方

◆タブレット等ICT機器の活用

- ・教職員間の情報交換
- ・会議のペーパーレス化(印刷時間の短縮等)

◆提案文書の計画的提案と会議短縮等

- ・提案文書の学年会等での審議や質問の整理等

③ともに学び続ける意欲と主体的に考え動く意識の向上

◆自分を知り、自分を整える教師集団の創造

- ・自分の強みややりがい、自分にあった働き方を知っている教師集団
- ・仕事に誇りを持つ教師集団

◆自他尊重…私が主役、あなたも主役

- ・「否定されない職場づくり」コミュニケーションを通して認め合える教職員集団

◆今が最新! 磨き続ける

- ・考えを伝え合い、高め合い、より良い納得解、最適解を目指してアップデートしチャレンジし続ける教職員集団

④「報告・連絡・相談」の徹底 ときに、「相談・連絡・報告」

◆「報・連・相」の徹底による孤立の防止

- ・チーム学校としての組織的な対応の徹底

⑤“温かなおせっかい”の実践